

# PTA

# やまがた



山形県PTA連合会ホームページ <https://www.ymgt-pta.jp>

## 第49号

### 令和7年2月発行

・編集発行・

山形県PTA連合会

会長 武田 靖裕

山形市十日町一丁目6番6号

(県保健福祉センター内)

TEL 023-631-0055 FAX 023-635-4359

・印刷所・

武田紙工株式会社

山形市和合町1-1-51 TEL 023(622)4187



大江町立左沢小学校父母と教師の会  
(PTA研修会にて～会員同士での意見交流～)



鮭川村立鮭川小学校PTA  
(鮭川子ども歌舞伎『白浪五人男』の一場面より)



酒田市立鳥海小学校保護者と教師の会  
(親子鳥海登山)



鶴岡市立朝日中学校PTA  
(地域の未来を考える「語り合い」)

## 《令和6年度山形県PTA連合会スローガン》

# 『当事者意識を持って一丸となって行動しよう』

## ～未来を担う子供たちの架け橋になる～

# 『当事者意識を持って』

## 一丸となつて行動しよう』

く未来を担う子供たちの架け橋になるく

山形県PTA連合会会長 武田靖裕



日頃より山形県PTA連合会の活動に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、単位PTAにおいても子供たちの健全育成のための環境づくりや学校と地域の架け橋として、ご尽力いただいておりますことに心より感謝と敬意を表します。

山形県PTA連合会は『当事者意識を持って一丸となつて行動しよう』く未来を担う子供たちの架け橋になるくのスローガンのもと活動を展開してまいりました。県P研修大会は、「育てよう 未来を生き抜く子どもたちく家庭・学校・地域で育む『夢』と『自律』」と題し、革新的な教育を行っている工藤勇一氏からご講演をいただきました。子供たちがこれからの「夢」に向かって「自律」した行動で、成長していくためには、子供たちの当事者意識を育む環境を整えるだけはいけません。私たち保護者が、先生方が、正にこのPTAが、今現在の教育に対しての当事者意識を高めていく必要があります。

す。家庭教育だけに目を向けるだけでなく、学校教育だけに任せるのではなく、地域教育においても私たちが当事者意識を持って積極的に関わり、子供たちと一緒に成長していくことが確認できたと思います。

県教委・県P連教育懇談会は「山形のこれからの教育」について研修しました。山形県教育振興計画は、社会変化や政府の動向を的確に踏まえ、本県教育について長期展望のもとに基本的方向性を明らかにし、総合的、計画的な推進を図るための計画で、おおむね十年間を通して目指す本県教育の姿を示すものです。第7次山形県教育振興計画(骨子案)が令和六年に示され、「第7次山形県教育振興計画」の策定に向け、児童・生徒、保護者、教員及び地域の方々の意見を参考にするため、7教振について対話する会「7トーク」が、県内各地で開催されました。山形県PTA連合会としても、山形県教育局の担当者から、「7教振骨子案」をお聞きし意見交換することで、「山形のこれからの教育」について理解を深めることができました。

また、「親子読書運動の推進」「親学の推進」「広報紙コンクール」等の健全育成や、広報活動にも取り組みました。

子供たちを取り巻く教育環境は大きく変化しています。また、少子化や学校数減少等から「持続可能なPTA活動」を山形県PTA連合会として模索していかなければなりません。あらゆる変化に対応しながら、愛する子供たちの健全な成長と幸福を願い、これからも、親としてPTAとして出来ることを求めていきたいと考えています。

結びに、山形県教育委員会様をはじめ関係各位の皆様から感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。あいさついたします。



# 山形県PTA研修大会 鶴岡・東田川大会を終えて

実行委員長 佐藤竜太



令和六年十月十九日、第七十六回山形県PTA研修大会鶴岡・東田川大会が荘銀タクト鶴岡を会場に盛大に開催されました。当日は多くのご来賓と山形県内各地よりPTA会員の皆様にご参加いただきました。実行委員会を代表し、改めて御礼を申し上げます。

大会の開催にあたりましては、県PTA連合会、実行委員の皆様方に事前準備や当日の運営、そして後片

付け・記録の編集まで、たくさんの方の時間を費やして頂きましたことに感謝しております。

本大会では「育てよう 未来を生き抜く 子どもたち」家庭・学校・地域で育む『夢』と『自律』の大会主題のもと、全体行事、記念講演を行いました。記念講演では鶴岡市出身で横浜創英中学・高等学校前校長の工藤勇一先生より「子どもに生きる力をつけるためにできること」と「育ての大切な2つの目標とは」の演題でご講演いただきました。工藤先生は麴町中学校校長時代、宿題・定期テスト・固定担任制を廃止するなど、今までの「当たり前」を見直す大胆な学校改革で全国が注目する教育界のトップランナーで、県内の教育関係者の中にも先生の考え方を支持する方も多く、とても興味深い講演となりました。

工藤先生の講演では子供の主体性を育むことの重要性について、海外と日本の子育て事例を交えながら丁

寧にお話し頂きました。「自分の頭で考え、判断し、行動すること」を表す「主体性」は人間がもともと持っている、生まれたばかりの赤ちゃんは主体的だった、との言葉にはとても納得させられました。親子で大切にするべきことは「子供の声をしっかりと聞くこと」であり、子供が自分の意見や感情を表現できる環境を作り、親は子供の行動に対して指示するだけでなく、子供の考えや意見にしっかりと耳を傾け尊重する姿勢を見せると、そうすることで子供は自分の考えを持つことの重要性を学んでくれるということ、そして、子供が失敗を恐れず挑戦することを尊重

し、親は挑戦する過程を支えることで子供の主体性が育まれることを教えていただきました。

もう一つの多様性の社会の中で生き抜く力は、子供が体験を通して学んで身に付ける知恵やスキルであり、どう学ぶかは子供が自ら決める「自己決定力」であるということでした。これからの時代を子供たちが生き抜くために「主体性」と「自己決定力」を育むことが重要であることを学ばせて頂きました。会場で拝聴している皆さんも子供の主体性の大切さ、家庭環境が子供の成長に大きな影響を与えていることを改めて考えさせられた様子でした。

この研修大会は地域や学校の異なる背景を持つPTA会員が同じテーマについて情報や考えを共有しながら学ぶ、とても貴重な場であったと思います。この学びを地域や学校に持ち帰り、共有して実践していくことが子供たちや保護者の方々にとって大変有益なものになると思っています。この研修大会の開催にあたり、PTA会員同士の団結もより深まったように感じました。子供たちそれぞれが描く「夢」に向かい、未来への道を自ら切り開いて生きいくことを願っております。



# 県P連母親委員会から



県P連 母親委員会  
委員長  
高橋 あゆみ

山形県PTA連合会母親委員会の活動にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。また、各郡市PTA母親委員会におかれましても活発に活動していただき感謝申し上げます。

今年度も母親委員会は「いのちの尊さ大切さ」のテーマのもと、子供たちの生きる力を育んでいけるよう願いをこめ、人とかかわりの大切さやかかわる喜びを実感しながら、学びの場になるよう活動してまいりました。各地区での活動をお互いに伝え合うことにより、より良い活発な活動に繋がればと情報交換も盛んに行いました。ミニ研修会では「母親委員会の成り立ちとこれからの在り方」について学び、県P連においての母親委員会の位置づけや、過去を知り未来へ繋いでいくには…を深

く考える機会となりました。母親委員会で発行している「母親委員会だより」をご一読いただき諸活動の情報共有していただければ幸いです。全国的には女性PTA会長の割合が増え、母親委員会という組織がない地域もあるとお聞きします。しかし山形県では多くの学校でお父さんがPTA会長を担ってくださっています。お父さんが積極的に子供たちの育ちに参加して下さることはとても心強いことですが、一方でお母さん方の意見や想いを発信できる場はまだまだ少ない状況です。

母親委員会は「子供たちの一番身近な存在である」お母さんの想いをもとに、お母さんだから・女性だからこそ気づく問題点・課題を広く吸い上げ、集約し、発信していく貴重な場でもあります。これからも子育てにかかわるすべての方々と「子供たちのために何ができるか」を共に考え、手をたずさえながら、子供たちの育ちのためのより良い活動に繋げてまいります。

## 各地区の活動報告

### 《東置賜》

- ◆地区PTA代表母親委員一名が県P連母親委員会に出席する
- ◆地区協議員会において各市町の活動状況を報告

### 《北村山》

- ◆村山市P：委員会開催・読み聞かせ
- ◆尾花沢市P：委員会開催・おたより発行
- ◆大石田町P：母親交流会・おたより発行
- ◆東根市P：組織なし

### 《西置賜》

- ◆長井市 母親委員会(年1回)
- ◆小国町 研修会の開催(年1回)
- ◆白鷹町 母親代表の会(年2回)
- ◆飯豊町 読み聞かせ活動  
(町との共催の読み聞かせ活動もあり。)本紹介母親委員会だより発行・リユース活動の推進

### 《最上》

- ◆地区母親委員会全員研修会1回(講演・演習)
- ◆代表母親委員会2回
- ◆母親委員会だより

### 《米沢市》

- ◆母親委員会(活動報告等)
- ◆母親委員会(講演会・情報交換)  
不登校についての講話

### 《山形市》

- ◆テーマ 「いのちの尊さ大切さ」  
～かかわる喜び つなげる笑顔～
- ◆定例母親委員会3回(研修会・情報交換) 5/9 6/20 2/17
- ◆拡大母親委員会1回(「いのちの大切さ学習会」共催)  
研修：「子どもを犯罪から守るために～少年の非行及び被害の現状から～」  
講師：小林智佳子氏(県警察本部 生活安全部人身安全少年課 少年サポートセンター調査官)
- ◆親学 親学 家庭教育視察研修  
(山形市立図書館・山形市立商業高等学校視察)
- ◆母親委員会だより「マザーズねっとわーく」No.29発行

### 《天童・東村山》

- ◆母親委員会総会(中止)
- ◆母の集い(研修会)  
※地区P研修会と兼ねる

### 《上山市》

- ◆母親委員会1回
- ◆保護者研修会  
(上山市PTA連合協議会との共催)

### 《西村山》

- ◆母親委員会(3回)協議・研修
- ◆代表委員会(2回)企画運営
- ◆情報交換会

### 《酒田飽海》

- ◆母親委員会(講演会)
- ◆母親委員会(情報交換会)
- ◆酒田飽海PTA研修大会協力

### 《東田川》

- ◆地区PTA代表母親委員一名が県P連母親委員会に出席する

### 【令和6年度 母親委員会】



### 《鶴岡市》

- ◆鶴岡市P連事務局会、常任委員会への参加  
(正副委員長のみ参加)
- ◆市P連の会議研修会、懇談会への参加

# 山形県教育委員会・山形県PTA連合会教育懇談会

(令和6年11月19日) 県保健福祉センター

## テーマ 「山形のこれからの教育」

山形県教育振興計画は、社会変化や政府の動向を的確に踏まえ、本県教育について長期展望のもとに基本的方向性を明らかにし、総合的、計画的な推進を図るための計画です。この計画は、おおむね10年間を通して目指す本県教育の姿を示すものです。

第7次山形県教育振興計画(骨子案)が令和6年3月14日に示され、「第7次山形県教育振興計画」の策定に向け、児童・生徒、保護者、教員及び地域の方々の意見を参考にするため、7教振について対話する会『7トーク』が、県内各地で開催されました。山形県PTA連合会としても、山形県教育局の担当者から、「7教振の検討状況」の説明をお聞きし意見交換することで、「山形のこれからの教育」について理解を深めるために実施したものです。



### 話題提供 山形県教育委員会教育局教育政策課 企画調整専門員 安達 納氏

1. 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現
2. 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する
3. 社会の変化に対応した学びの環境を整える

以上の話題提供を受け、県民みんなで「myチャレンジ」(重点的な取り組み)の視点からグループ別に意見交換が行われました。(意見から一部を掲載)

#### 体験

～わくわく無限大～ 山形県の歴史・文化の研究、ラーメン・蕎麦の食レポ  
子供が自分で調べた事を教えてもらう

#### 探求

～なんで?を大切に～ 地域の人材を活用する。動画を見て再現、YouTubeで興味を理解しあう。  
他校交流や地域の魅力づくり。大人の学びも大事。

#### 尊重

～みんなが主役で応援団～ 子供と話す時間を確保する。子供のやりたい事をさせる。  
企業の協力を得て、子供たちに考える力をつけてもらう。

#### 協働

～みんな笑顔で～ 地域活動・お祭りの参加。他地域との交流でコミュニティーを広げる。  
学校・子供にかかわるボランティア活動。

### <講評と総括>

体験・探求・尊重・協働のmyチャレンジについて付箋に意見を書き出しました。見直すと、人と人とのつながりが大事と考えている意見が多く見受けられました。部活の地域移行、社会に対応した学びや教育の変化に子供と楽しみ共有するのが重要ではないでしょうか。

### <まとめ>

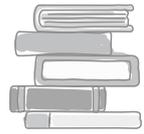
様々な価値観を共有する多様性社会、子供たちが安心してチャレンジする学びを、家庭や地域と一緒に関わって見守ることが大事だと思います。一人ひとりが自分事ととらえ、自分もみんなも幸せ「ウエルビーイング」を実現できら良いと感じました。熱心に話し合いをしていただいた参加者の皆様、本当にありがとうございました。



山形県PTA連合会副母親委員長 佐藤 由佳



# 親子で読書 深める絆



## ～本を読む子はかならず伸びる～



山形県PTA連合会では、親子読書をととして生涯学習を進め、親子で学び、親子でコミュニケーションを活性化することにより、親子の絆が一層深まり、子供の心が豊かになることを願い、運動を推進しています。



家庭と地域と『つながる』  
読書活動

寒河江市立三泉小学校

本校では、豊かな心を育み本に親しむ子供になつてほしいと願ひ、絵本の読み聞かせに取り組んでいます。『南山形絵本の会』の皆様協力していただき、年間十二回、朝の時間に行つています。子供たちは読み聞かせが大好きです。毎回、絵本の会の皆様から、学年や季節などに合わせて絵本を選んでくださるので、「今日はどんな絵本なんだろう。」と毎回楽しみに待つています。高学年の子供たちでも、いつも集中して聞いています。みんなが本の世界に引き込まれる、心を耕す時間です。ほつこりとした気持ちで一日をスタートできる、貴重な日になつています。



豊かな心を育む  
絵本の読み聞かせ

山形市立南山形小学校

親子読書・地域の活動

本校では、毎月第三土曜日を「家庭読書の日」とし、「おうちで読書」を実施しています。下学年は、自分で選んだ本を家の人に読み聞かせしてもいい、上学年は、自分で選んだ本について家の人に紹介する取り組みです。また、PTAや地域の方を招いて、朝の時間、月に一回程度の読み聞かせ「オープンセサミ」を行っています。学年に合わせて、本を選定していただき、新しい本との出会いにドキドキわくわくの読書活動となっています。



『おうちで読書』での感想の一部

「野口英世」

《好きな理由》

ねむらずに勉強に費やすところが、すごいと思つたからです。《家の人から》

修学旅行でも記念館に行き、同じ東北出身のすばらしい偉人のエピソードなどからいろいろ感じ、学べたことも多かつたと思います。強い意志をもって取り組む大切さを学び、これからの人生に活かしていただく



家族で読書、深める絆  
本を通して家族の  
コミュニケーションを

新庄市立新庄小学校

本校PTAは、毎月第三土曜日を「ファミリー読書の日」とし、学校と連携しながら取り組んでいます。

目的

- ・ 家族のコミュニケーションを活性化させる
- ・ メディアから離れ、家庭での過ごし方について家族で考える機会にする
- ・ 子供たちが家庭で本に向き合う時間を設ける

そして、家族で

「本との出会い」を楽しむ！

「ピリオオバトルへ、ようこそ！」  
《好きな理由》  
主人公のゆずきは、あこがれのゆきや君と同じ図書委員になつて、ピリオオバトルに参加します。そこで、チャンプ本を勝ち取り、ゆきや君に注目してもらえようがんばっているところが好きです。  
《家の人から》  
たくさん本が出てきて、読みたいと思える本もありました。主人公の女の子も、かわいらしくておもしろかつたです。

★「ファミリー読書カード」の活用



おすすめ方

- ① 家族で時間を設定
  - ② 本を選定
  - ③ 方法を決定
  - ④ 感想記入
- 主な方法
- ① おうちの人が読み聞かせをし  
てもらう
  - ② おうちの人へ読み聞かせをする
  - ③ 同じ時間に親子で読書をする
  - ④ その他

最終月(一月)に  
「わが家のベスト本」を決定!

★ファミリー読書

おすすめ本の紹介コーナー

図書室内に、各家庭から選ばれた「ベスト本」や新刊図書を紹介。

★児童会が中心となる活動

図書委員会の児童が、ファミリー読書のある週に、自分の読む予定の本のタイトルや読書方法について校内放送し、呼びかけ。

児童による読み聞かせや図書まつりの開催など、読書に親しむ活動を実施。

地域ボランティアによる読み聞かせ

月二回の朝活動の時間や地域交流室あじさいルームにおいて中間休みに、読み聞かせサークル「おはなし広場」のみなさんから読み聞かせをしていただき、子供たちがお話の世界に引き込まれる楽しい時間。子供たちの本との出会いや家庭での話題にもなり、家族での読書の取組みが広がるきっかけに!



本がくれる素敵な時間

米沢市立東部小学校



本東部小学校では、地区の図書ボランティアの皆さんが、読み聞かせやブックトークをしてくださっています。

読書月間の十一月には、低学年だけではなく、全学年で本に親しみました。本の魅力に引き込まれたり、笑ったり、優しい気持ちになったり...とてもよい時間でした。家に帰ってから、「読み聞かせをしてももらった!」ブックトークおもしろかった!

「ろかった!」という話になることが多いようで、家庭で本の話題が広がっています。

また、読み聞かせやブックトークをきっかけに、市立米沢図書館「ナセBA」で本を借りて読むことにながっている様子も見られます。

本がくれる素敵な時間を、学校で、家庭で、地域で広げていきたいと思っています。



親子も楽しめる  
読書体験

鶴岡市立朝陽第二小学校

本校が親子で取り組んでいる読書活動は大きく三つあります。

一つは長年活動が続いている読み聞かせサークル「おはなし朝ごはん」の方々の取り組みです。もうお子さんが本校に在籍していない地域の方も活動を続けてくださっており、子供たちは「ワクワクして楽しいお話だった。」「次はどんなお話が聞けるのか。」「自分が選ばないよ」というお話を聞けることができて、楽しみに待っています。

二つ目は、低学年で「一人一役」で、本の読み聞かせを行っている学年があることです。「一人一役」とは、親子行事の係やベルマークの集計など子供たちに関わる仕事を保護者全員が行うというものです。その中に読み聞かせがしっかりと位置づけられていることで、子供たちが本に親しむ大きなきっかけになっているのではないかと考えます。

三つめは、夏休みに全児童が取り組む「親子読書」です。親と子が同じ本を読み、感想を一枚の用紙にまとめ、伝え合う活動です。保護者は落ち着いてじっくり読書に向き合うことが難しい状況にある人が多いと思いますが、この機会に「久しぶりに一緒に読書ができてよかった」「なつかしい気持ちになった」とあたたかい感想をもつ方が大変多かったです。これらをまとめた図書館だよりが発行されたり、保護者会の時に掲示されたりして、他の家庭の様子を知ることが出来ます。

本から得られる感動や知識ももちろん大事なことでありますが、親子でそれぞれ考えや感想をもち、それを伝え合い、気持ちを共有したり、友達に気づいたり、親子で行うことで得られるもの多さに驚き、このような機会に感謝しております。



# PTA活動と教育活動の連携 子供と大人がともに楽しもう

大江町立左沢小学校父母と教師の会会長 **鈴木将太**



はじめに

本校は江戸時代から最上川船運の港町として栄えていた左沢に、明治六年「第一番左沢学校」という校名で創立し、寒河江西村山地区で最も早く開校した小学校である。令和五年度に創立一五〇周年を迎えた。

学区内十数か所の事業所で体験しながら職業を学ぶ「キャリア体験クラブ(高学年)」や地元のボランティアサークル「くすの木」による読み語り、正調最上川舟唄の学習や左沢線を利用した諸活動など、地域と密着した教育活動を展開している。協働による教育課題の解決と魅力づくりを重点とし、校歌の歌詞にもなっている「みんな仲良く花と咲く」学校づくりを目指し教育活動、およびPTA活動に取り組んでいる。



一、特色ある取り組み  
① 創立一五〇周年記念学校祭  
子供たちに母校を愛する気持ちと、これまで支えていただいた地域の方々へ感謝する気持ちを持ってもらうことをねらいとし、記念式典後に学校祭を行った。

計画当初は、記念式典後に講演会を実施するということを考えていたが、児童たちが「高校の文化祭のようなイベントを行いたい」と立案し、学校祭を行う運びとなった。企画運営を児童が行い、PTA会員が全面的にバックアップすることで実現に至った。

当日は、大江町の良さや魅力について子供たちが調べたことを、発表や作品展示という形で紹介するとともに、校内スタンプラリーやゲームコーナー、お茶コーナーなど、多様な企画運営を行った。準備活動を学校の教育活動だけでなく、PTAで実施している学年行事と連携して進めたこともあり、大変充実した内容となった。

## ② 我が家の絶品レシピ

母親委員会では、コロナ過でも親子で取り組むことができる活動を継続し、会員同士のつながりを大切にしている。令和四年度は、冬季休業中に各家庭で実際に料理を作ってもらい、それを「我が家の絶品レシピ」と題してまとめ、校内に展示した。写真やイラストを交えて作成したレシピは、視覚的にも楽しめる工夫がされており、多種多様な料理が並ぶことで、参加者同士の交流も深まり、非常に好評であった。

## ③ 朝の街頭指導

地域の子供たちを見守ったり、親

子の絆を大切にすることは、子供たちが安心して学校生活を送る基本となることから、本PTAの学年部では月初めに年六回、朝の街頭指導を行っている。登校する子供たちに「おはよう」等の挨拶や声がけをしながら、安全な道路歩行や横断の見守りを行っている。そのうち二回は全PTA会員による一斉街頭指導の日とし、通学の様子や通学路について心配なことがあれば、学年部まで教えてもらい是正するようにしている。

## 二、成果と今後の方向性

コロナ過で縮小していたPTA活動を通じた保護者の方々とのつながりを、令和五年度の創立一五〇周年記念事業を機に一気に深めることができた。その結果、令和六年度のPTA活動への参加者も激増し、PTA組織の中でも子供たちをよりよく育てていこうという姿勢が強固になってきている。

これから先数年間の児童数の減少によりPTA会員数も少なくなることも見込まれていることから、組織体制の見直し、事業の効率化・スリム化を図りながら、持続可能でさらに魅力あるPTA事業を検討していく。

今後もPTA活動を通じて子供たちの成長を支え、楽しみながら活動を行っていききたい。

# 主体的に活動するPTAをめざして 人と人、地域と学校のつながりを求めて

鮭川村立鮭川小学校PTA会長 **今野信吾**



## 一、はじめに

鮭川村は、山形県の北部に位置し、村の中央を清流鮭川が流れる自然豊かな環境にある。

基幹産業である稲作の他にきのこ栽培も盛んで、県の約六十%を生産している。昔から各地域で伝統的な文化があり、地域色豊かな芸能が残っている。

本校は、平成二十三年四月、村内四つの小学校が統合され、村内唯一の小学校となった。「夢中で学ぶ子やさしい子 前向きな子」を教育目標とし、地域や各種団体、行政等と連携し、地域に根ざし開かれた学校づくりを進めている。

また、小・中一校ずつという利点を生かし、様々な面で連携し、一貫した教育を進めている。

## 二、組織・運営について

PTA加入率は百%で、活動への意識も高い。

各種役員については一家庭一役とし、兼職しないよう配慮。各部会を選択する際は、会員の意欲や得意分野を生かし自主的な活動が行えるようにしている。

今後、児童数の減少に伴い会員数が少なくなっていく中で、無理なく活動を行えるよう規模にあった組織への改変も始めた。

## 三、特色ある取り組み

### ① 小・中PTAの連携

生活リズムの確立を図るため、保育所・中学校PTAと連携し、家族の団らん等を奨励するファミリーデーを毎月設けた。さらに、ネットトラブルに対応するための「四つの約束」を作成、配布し、各家庭の協

力のもと、児童の情報モラルを高めようとしている。

また、中学校と合同で研修会やグループディスカッション等も実施。その会に村長からも参加いただき、村の施策に反映してもらえるようにしている。

### ② 地域や各種団体等との連携とそれによる教師・保護者の負担軽減

あいさつ運動は、保護者のみならず地域の方からの賛同も得て、登下校時に各バス停付近での見守り等を行っている。

資源回収は、村の全地域の協力のもと、年二回実施。収益金は図書購入等に有効活用している。

また、OB・OGを含めた読み聞かせ団体や伝統文化芸能団体から継続的に指導をしていただく体制を構築しており、教師や現役世代の保護者の負担軽減になっている。



### ③ 情報発信について

学校での活動の様子を地域に周知するため、毎月学校だよりを発行し村内全戸に配布。PTA活動についても紹介し、活動内容の報告や周知などの広報活動も行っている。

また、学校運営協議会を通して、情報を地域住民にまで広げられるようにしている。さらに、今年度は、学校のHPを立ち上げ、研修教養部を中心に、幅広く情報を発信できるようにした。

### 四、成果と今後の方向性

成果として、同じ部会に複数年関わることでリーダー的な存在が現れ、より自治的な取り組みになってきた。また、各々意欲的に参加しており、様々な工夫や会員同士・他団体とのつながりが見られるようになってきた。

課題として、会員数の減少等は避けられない状況であるため、実態に合わせ、組織のスリム化を図るとともに、負担の大きい事業については、地域住民との連携・協働を図っていく。

これからも、子供たちの健やかな成長のため、人と人、地域と学校をつなげながら、主体的に活動するPTAを目指していきたい。

この度、「日本PTA全国協議会会長賞」という素晴らしい賞をいただくことが出来たこと、とても光栄に思っています。このような賞をいただくことができたのはこれまで鳥海小学校のPTAに関わっていたいた諸先輩方と現在のPTA会員の皆様、新旧教職員の皆様、そして本当にたくさんの方々の協力があるからこそ、と思います。心から感謝しております。

さて、皆様に支えていただきながら創り上げた鳥海小学校PTAならではの活動の一部を、この場をお借りして少しだけ紹介させていただきます。鳥海小学校は米どころ庄内平野の北側、酒田市の北部に位置している全校児童一三四名の小規模な小学校です。当校の、おそらく他校ではあまり見ないであろう特色の一つとして挙げたいのは、学校の敷地内に田んぼがあることです。五年生の学年行事ではこの田んぼにて毎年米作りを学びます。地域の農家の方に講師をお願いし、苗を植えるところから学習がスタートします。子供たちは泥んこになりながら昔ながらの田植えを体験、のちに田植え機が登場した際には現代の技術の進歩にあらためて驚かされることになるのです。普段何気なく外の風景の一部のように田んぼの農作業を見ているようでも実際に体験し土

に触れる経験は子供たちにとって貴重なものであると考えます。お米の成長を観察、そして収穫の時期にはまた手作業での刈取りと脱穀を体験、精米と袋詰めをした後に地域のふるさと祭りで子供たちが自ら販売活動を行います。おかげさまで毎年大変ご好評をいただいております。今年も数分程度で完売しました。この貴重な経験にたくさんの方々の感謝を込

ちだけではなく一緒に参加する保護者にとってもなかなか大変なことです。夏でも頂上部に近いところでは気温が下がりますし、足元の悪い場所や、天候の変化なども気を付けなくてはいいけません。まさに自然の美しさを体で体験できる行事だと考えます。

もう一つご紹介したい活動は、この度数年ぶりに行われましたリサイ

## 日本PTA全国協議会会長表彰

### 会員と地域の協力あってこそそのPTA



酒田市立鳥海小学校保護者と教師の会会長

永澤 文大

めて学習発表会ではお米に関する内容の劇やクイズなどで全校生徒を盛り上げています。

次にご紹介したい活動は、小学校の名前にもなっている鳥海山についてです。毎年七月に六年生が学年行事として鳥海山への登山を行っています。小学校の窓からいつも見えている二二三六mの鳥海山ですが、いざ自力で登ってみるとなると子供た

クル活動です。コロナ禍でなかなかできなかった活動が今年度から一部ルールを改定し無事に再開することができました。学区内地域の方々のご協力をいただき各家庭から出た古紙・段ボールをPTA会員が回収しました。小学校PTAのリサイクル回収日として設定した日が、同地域の婦人会主催のリサイクル活動の翌日にしてしまうというハプニングが

あったにも関わらず、とてもたくさんの方々が集まりました。このことは、地域の方が小学校のPTA活動に関心を持っていて、ということを感じてくる出来事となりました。

ご紹介させていただいた活動は、その全てにおいて多くのPTA会員と、地域の方のご協力がないと到底成しえないものであります。農作業の経験は地域の先生が忙しい中わざわざ来てくれなければできないことですし、登山学習も多くのPTA会員の協力が必須です。私が当校のPTA会長を拝命してとても驚いたことはこれらの活動を行う中で、私の想像していたよりも遥かに多くの方が毎度当然のように手を貸してくれているということでした。多くの人が鳥海小学校のPTA活動への関心と積極的な協力姿勢を持っていただけであること、これは対外的にも誇れる素敵な文化だと思えますし、今回のような素晴らしい賞をいただくことに繋がったのではないかと思います。こういった、他地区に誇れる地域性を今後も維持していけるよう、また次世代の会員が引き続き子供たちの成長と学習のためにPTA活動を継続していけるよう、今後とも私なりにサポートできればと思いません。

## 一、学校・地域について

本校は、昭和三十三年、合併前の旧朝日村に五校ある中学校の二校が統合されて開校されました。その後、他の三校も順次統合され、昭和五十二年には地域に一つの中学校となりました。

朝日地域は、庄内と内陸を結ぶ要所として今も史跡とともに残される「六十里越街道」をはじめ、数多くの歴史が保存されているほか、近年は多くのスノーボーダーの注目を集める「R天国」の湯殿山スキー場等、観光資源も豊富な地域です。

## 二、本校の取り組み

### ①「地域語り合い」

東北公益文科大学、朝日中央地区自治振興会等の協力のもと、生徒、教職員、保護者、地域住民によるワークショップを行いました。令和五年度は「将来、こうだったらいいな朝日」をメインテーマに、地域の良いところや地域の未来像について世代を超えて意見を交換をしました。

今年度は一歩進めて、三年生が取り組んできた地域課題解決のための手立てに関する探究活



動の発表をもとに、その実現のために自分たちができることについて話し合いました。

### 参加者の感想

「始めは意見を言えなかつたけれど、後半からは人の意見を聞き、さらにプラスに考えたことを発言できて楽しかった。もっと地域の人が話したい。」(生徒)

「生徒が自信をもって話す言葉が

ます。学校では、生徒会及び保護者によるあいさつ運動を実施しています。また、生徒会で行っているアルミ缶回収は、地域への協力も呼びかけています。昨年度の回収量は二百二十七キロで、換金して災害被災地に寄付させていただきました。

また、地域では、夏に一齐にゴミ拾いを行っており、地域の方とともに生徒、保護者が参加しました。

## 日本PTA全国協議会会長表彰

### かだろーぜ、朝日中！



鶴岡市立朝日中学校PTA会長

菅原 源太郎

心に入ってきた。それと私たち(高齢者)の話に興味を持って聞いてくれたことにはちよつと驚いた。全員明るく、元気。次に会う機会までの成長に期待しています。」(地域の方)

### ②地域ぐるみでボランティア活動

昭和五十六年から地域ぐるみで「朝日かたくりの子」四つの運動(あいさつ運動・しんせつ運動・愛郷運動・きたえる運動)に取り組んでい

### ③その他地域と連携した活動

生徒によるボランティア活動として、小学生を対象とした自然教室に、希望する生徒がスタッフとして参加したり、地域の高齢者のご自宅の除雪をお手伝いしたりしています。一方で、地域の住民の方々には、主に長期休業中に、希望する生徒に対して学習支援をしていただいています。



## 三、今後の活動に向けて

「かだろ」とは、「参加する」という意味と「語る」という意味を併せ持つ、庄内地方の方言です。長年PTA活動や地域行事に「参加しようぜ!」「語り合おうぜ!」という願いを込めて「かだろーぜ!」と呼びかけてきました。近年、生徒数も減少し、保護者、教職員の会員数は減少傾向にあります。地域語り合いのよりに、学校、保護者、地域が一緒になつて取り組む機会をつくることで、子供たちには地域への愛着や地域貢献意識が、保護者や地域には地域の子供として、ともに子供を守っていく意識が育まれ、それが今後の地域振興にもつながっていくものと期待しています。

学校、保護者、地域が一体となつて「朝日が好き」という子供を育てていく。その思いを引き継ぐためにも、今後も「かだろーぜ!」と呼びかけていきたいと思っています。

東北ブロックPTA協議会  
会長表彰を授賞して

飯豊町立手ノ子小学校PTA

会長 大河原 良太



昨年度手ノ子  
小学校は創立百  
五十周年を迎え  
ました。学校と  
してもPTAと

しても様々な記念事業を行いました。夏休みには有志で、「百五十周年を祝い隊」を結成し、山形花笠祭りへ参加したり運動会や地域の皆様に披露したりしました。記念式典では、全校児童が地域に伝わる手ノ子八幡神社獅子舞に挑戦し、大人顔負けの立派な獅子舞を演じてくれました。本年にお祝い一色の一年となりました。他にも町PTA事務局として四年ぶりに参集型の研修会を企画運営したり、親子での読書活動に取り組んだりしました。私個人としても忘れる事の出来ない大変よい思い出となりました。

手ノ子小は全校児童十五名と

小さな学校ではありますが、このようない大イベントを成し遂げるまでに至りました。これは、これまでPTA会員はもちろんのこと、校長先生はじめ教職員の皆様、祖父母や地域の皆様が、子供たちの頑張りを支えようと一丸となって活動してきたからだと思っております。そのような姿が評価され、この度の受賞に至った事は大変名誉なことであり、心より嬉しく思っております。

昨今、子供たちを取り巻く教育環境は大変厳しく、前途多難と言っても過言ではない教育現場となっております。もう立ち止まる時期は終わりにし、今こそ私たち大人が知恵を出し合い、協力し合い子供たちの頑張りや報いる時だとこの受賞を機に強く意を決した次第です。今後子供たちがより安全で安心して学ぶことが出来ますよう、PTA活動を前へ進めて参りたいと考えております。この度は本当にありがとうございます。どうぞい



「子は地域のかすがい」

酒田市立亀ヶ崎小学校PTA

会長 大井 正紀



酒田市立亀ヶ  
崎小学校は、平  
成二十六年  
度に市立港南小  
と市立亀ヶ崎小

校が統合して誕生しました。令和六年度は開校から十年の節目の年に当たります。そのような記念の年に、名誉ある賞をいただけたことは、本校PTAのこれまでの活動を評価いただいたものであると、心より感謝申し上げます。

この十年間、さまざまなことがありました。開校当初は、異なる学校の子供たち・保護者・地域が、新しい小学校で交わるという、これまで経験したことのない状況に、みんな戸惑っていたと思えます。当時、PTAに関わった皆さんが、知恵を出し、熱い議論を交わし、時に盃を酌み交わしながら一つに溶け合ってきたからこそ、現在の仲の良い亀ヶ崎小学校、PTA、地域があるのだと思います。そういう意味で「子はかすがい」で

あり、地域にとつて学校こそが心の拠り所なんだと感じましたし、私たちの子供は、地域の皆さんにこそ育ててもらっているのだと、いつも心強く感じていました。こうやって生まれた絆は、新型コロナという試練にも負けず、現在も変わらずに亀ヶ崎小学校に息づいています。

私たち亀ヶ崎小PTAの活動で、特筆すべきものがあるとするれば、PTA広報紙の「ひなづる」です。スポーツフェスティバルや亀っ子発表会などにおいて、会場には広報部員個人持ちの高性能カメラがズラリと並びます。写真のクオリティはもちろんです。編集会議を重ねて生み出される紙面は子供たちへの愛にあふれています。「ひなづる」は何度も広報関係の賞をいただいています。何よりも地域の皆さんが発行を楽しみにしてくれていることが、この広報紙の輝きを示していると私は思います。

亀ヶ崎小学校は新たな十年へと進みます。今後も私たちは、子供たちの未来のために、学校、地域と力を合わせて活動を続けていきます。このたびは、名誉ある賞をいただき、本当にありがとうございました。

## 日本PTA全国研究大会川崎大会に参加して

八月二十三日・二十四日「第七十二回日本PTA全国研究大会川崎大会」が開催され、県内から二十八名が参加しました。

◎日本PTA全国大会川崎大会に参加させていただき、多くの学びを得ました。私は、沖縄・北海道の方々や、地域の課題はどこも一緒なのだと感じました。ウエルビーイング(幸福感)、「まずは自分が幸せでない子供も幸せになれない、そして周りの人間も幸せにできない」を心に染み込ませ、来年の山形県PTA研修大会新庄・最上大会へつなげていきたいと思えます。(最上地区PTA協議会会長 監 物雄一郎)

◎「ウエルビーイングとは何か？」大会のテーマに掲げられたフレーズでしたが、その意味は全く分かかっていませんでした。「あなたにとって一番幸せな事は何か？」大会の冒頭で問われた質問でしたが、幸せのあり方や幸福度の感じ方は人それぞれ違い、その場にいる全員が幸福に感じられるように調和を図ること、それがウエルビーイングなので



しよう。地域活動や家庭の中でウエルビーイングの実現を目指して自分なり努めていきたいと思えます。(鶴岡市PTA連合会会長 佐藤竜太)

◎今回PTA全国大会に参加させて頂き「ウエルビーイング」の概念を学びました。初めて聞く単語でしたが「ハッピー」をより広義にかつ継続性や発展性を持った概念で「SDGs(持続可能な開発目標)」のように世界中に急速に広がっていくキーワードになるものと感じました。現在、山形県で策定中の第7次教育振興計画骨子にも盛り込まれました。「大人がワクワクすると子供もワクワクする」「自分のワクワクを皆に伝えよう」と自分なりに理解し、心躍る瞬間をこれからも大事にしてPTA活動等を通じて皆に伝播させていけたらと考えております。

大会中の各セッションでは隣席の方との意見交換する場面が何度もあり、各々が単Pの組織運営や仕事・家庭とPTA活動の両立など共通課題を共有でき、今後の活動への大きな学びと励みになりました。(酒田飽海PTA連合会会長 佐藤 耕)

第五十六回東北ブロック研究大会東青大会が、「子どもを感動させろ、子どもを感動させるを感動させるにはおまえ自身が感動しな



きやいかん。そのためには学びをとおめるな。」すべては子どもたちの笑顔のためにこのテーマのもとに開催されました。

当日は東北各県より千九百名を超える参加がありました。初日の分科会では「子どもたちの立場で学校統廃合の実態を考える」がテーマの第五分科会に参加し、各県のパネリストの方々並びに青森県の中学生と共にディスカッション及びワークショップを通して学びを深めました。ディスカッションでは統廃合を経験された校長先生やPTA会長、教育委員会の方や歴代日本PTA全国協議会の会長など、様々な立場よりその経験をもとに実際に感じた課題やケアの在り方などをお話しいただきました。ワークショップでは八つのテーマに分かれ、それぞれのグループで子供たちがリーダーとなり意見をまとめ発表してくれました。

子供たちの率直な意見を聞く機会を得られたことも収穫でしたし、子供たちのグループの意見をまとめあげる能力の高さにも驚かされました。子供たちと共に分科会を体験するという試みは、どこかの機会に取り入れてみたいと思える試みでした。

翌日の全体会では記念討論会が催され、歴代の日本PTA全国協議会の会長を中心とする職経験者よりポストコロナ時代のPTAの在り方について様々なお話を聞きました。改めてPTA活動の在り方を考える機会を得られ、心構えを高めることができまし



東青大会を通して多くの気づきがあり、大変有意義でした。今後も多くの方に参加して頂ければと思います。(米沢市PTA連合会会長 渡邊 剛)

## 東北ブロック研究大会東青大会に参加して

# 栄えある受賞 おめでとうございます

今年度、県PTA、単位PTAにご尽力なされ、多大のご功績をあげられた団体・個人の方々に感謝状や表彰状が贈られました。誠にありがとうございます。(敬称略)

## 令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰

(団体)

大江町立左沢小学校父母と教師の会  
鮭川村立鮭川小学校PTA

鶴岡市立朝日中学校PTA  
飯豊町立手ノ子小学校PTA  
酒田市立亀ヶ崎小学校保護者と教師の会  
酒田市立鳥海小学校保護者と教師の会

## 令和6年度日本PTA全国協議会会長表彰

(団体)

酒田市立鳥海小学校保護者と教師の会  
鶴岡市立朝日中学校PTA

(個人)

高橋 義和 県P連前副会長(西置賜地区PTA)  
丸山 裕司 県P連前副会長(鶴岡市PTA)  
國分 亮一 県P連前副会長(最上地区PTA)

## 令和6年度全国小中学校PTA広報紙コンクール

(山形県PTA会長賞・日本PTA奨励賞)

酒田市立琢成小学校PTA	「琢成」
酒田市立亀ヶ崎小学校保護者と教師の会	「ひなづる」
酒田市立松陵小学校PTA	「松陵」
酒田市立泉小学校PTA	「たぶの木」
鶴岡市立朝陽第三小学校PTA	「朝光」
大蔵村立大蔵小学校PTA	「おおくらっ子」
三川町立三川中学校PTA	「はぐくみ」
山形県立東桜学館中学校・高等学校PTA	「桜風」
東根市立第一中学校PTA	「奥山野」

## 令和6年度東北ブロックPTA協議会会長表彰

(団体)

飯豊町立手ノ子小学校PTA  
酒田市立亀ヶ崎小学校保護者と教師の会

(個人)

神保 智善 県P連前理事(上山)  
森谷 輝文 県P連前理事(天童・東村山)  
宮林 成明 県P連前理事(西村山)  
坂井陽一郎 県P連前理事(北村山)  
森谷 康弘 県P連前理事(米沢)  
土屋 道明 県P連前理事(東置賜)  
日向 誠 県P連前理事(東田川)  
伊藤 正美 県P連前理事(酒田飽海)  
高橋 智文 県P連前理事(副母親委員長)  
長瀬 弘 県P連前監事(天童・東村山)

(山形県PTA会長賞)

新庄市立明倫学園PTA	「めいゆう」
鶴岡市立京田小学校PTA	「希望(のぞみ)」
寒河江市立寒河江中部小学校父母と教師の会	「やまぼうし」
山形市立東小学校PTA	「ひがし」
山形市立南小学校PTA	「わかたけ」
東根市立東根小学校PTA	「けやきの窓」

## 令和6年度山形県PTA連合会会長表彰

**感謝状** (令和5年度県P連役員退任者)

高橋 義和	丸山 裕司	國分 亮一
神保 智善	森谷 輝文	宮林 成明
坂井陽一郎	森谷 康弘	土屋 道明
日向 誠	伊藤 正美	高橋 智文
佐藤 昌彦	長瀬 弘	

## 令和6年度優良PTA山形県教育委員会表彰

山形市立滝山小学校父母と教師の会  
山形市立第六中学校PTA  
大江町立左沢小学校父母と教師の会  
鮭川村立鮭川小学校PTA  
南陽市立中川小学校PTA  
南陽市立赤湯中学校PTA

**表彰状** (郡・市P連より推薦)

前田 浩一	兼子 佳子	野口 雅弘
大石 玲児	深瀬 清光	高橋 慎吾
今井 直明	森 雅彦	



# 山形県PTA連合会安全互助会から

安全互助会は山形県PTA連合会事業の一環として運営されています。  
関係各位・保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

## 山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例

《条例の主な内容》

- ◎交通ルールの遵守 ◎自転車の安全利用 ◎自転車保険の加入義務化
- ◎自転車交通安全教育の充実 ◎自転車の適正な管理
- ◎令和5年度より、自転車運転者のヘルメット着用努力義務化

### ※自転車損害賠償保険等への加入について

児童・生徒の自転車での事故による損害については安全互助会に加入していることで補償の対象となります。未加入の学校PTAは是非ご検討下さい。

## 安全互助会ってなあに？

～加入については学校PTAごとになります～

- \*補償内容によってSコース・Aコースがあります。
- \*児童・生徒の学校管理下外のけがや、偶発の事故での賠償事故を補償します。
- \*PTA行事中のPTA会員（児童・生徒含む）の傷害事故・賠償事故を補償します。

▽近年の賠償事故の件数・支払金額増加傾向の対策として、賠償補償限度額1,000万円のコースをおすすめします。

・特に人身事故は医療費の全額が請求されたり高額になる場合があります。万が一の事故に備え是非ご検討下さい。

▽子供が自転車に乗るときはヘルメットを着用させましょう。

・ヘルメット着用は努力義務です。ヘルメット着用を習慣化し、子供たちを重大事故から守りましょう。

▽事故の未然防止が一番大切です。

- ・傷害事故の中でスポ少やクラブチーム活動中の事故が最多となっています。
- ・登下校や外出時は安全確認の声掛けで注意喚起し、事故防止にご協力下さい。



加入 250 校の内訳		傷害事故支払状況 (単位：千円)				賠償事故支払状況 (単位：千円)			
コース	校数	年度	件数	児童・生徒	件数	PTA 傷害	年度	件数	PTA 傷害
Sコース	205校	令和3年度	1,034	11,394	3	64	令和3年度	56	3,407
Aコース	45校	令和4年度	971	10,196	7	693	令和4年度	60	3,435
		令和5年度	732	8,283	12	837	令和5年度	54	2,321
		令和6年度(7.1.31現在)	313	2,514	9	314	令和6年度(7.1.31現在)	34	1,766



### タブレット端末等の破損について

学校から持ち帰ったタブレットを自宅で誤って壊した場合、他人から借用した時点でその借用物に対する管理責任が生じるため、保険金のお支払い対象外となります。

## 令和6年度より PTA会員の皆様の補償制度が大きく変わりました!

### ＜安全互助会(単位PTA一括加入のセーフティーネット)＞

\*24時間365日お電話で事故のご報告・問い合わせができます!  
(学校・県PTA安全互助会を経由しません。)

\*補償内容の詳しい問い合わせは保険会社・代理店へ!

\*S(700円)・A(600円)コースで、補償内容は今までと同じです。

- PTA活動中の会員・児童生徒のケガ
- PTA行事の賠償責任
- 児童生徒の学校管理下外のケガ
- 児童生徒の日常生活の賠償責任

\*PTA役員責任補償、PTA役員弁護士費用が追加されました!

\*教職員はPTA団体傷害保険(PTA活動中のケガ)、PTA賠償責任保険(PTA行事)の補償となり、保険料はかかりません。

\*補償開始が4月1日からになります。

### ＜やまがた子供総合保障制度が始まりました!＞

\*各ご家庭の任意加入制度です!

\*充実保障プラン～廉価プランの4プランから選べ、ケガや病気などお子さまの日常生活の様々なリスクを24時間カバー!

\*部活動や部活動の地域移行、塾や習い事、学校の休みも含めて24時間補償!(学校管理下も、1日からでも補償されます。)

\*学校貸与学習端末(タブレット端末)破損、紛失等にも対応!

\*いじめやSNSトラブルなどのトラブル被害対応費用を補償!

**山形県PTA連合会安全互助会 補償制度のご案内**

【安全互助会とは】  
本制度は児童・生徒の学校管理下外のケガや、PTA活動中のまがた子どもを補償し賠償を補償するものです。  
山形県PTA連合会が加盟校の保護者となる団体別加入の任意加入制度です。

単位PTAの一括加入

児童・生徒	PTA会員
<p><b>ケガの補償</b> (学校管理下外の場合、PTA団体傷害保険)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校管理下外でのケガ</li> <li>・PTA活動中のケガ</li> </ul> <p><b>賠償責任の補償</b> (児童・生徒賠償責任補償保険)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が他人に傷害を負わせた場合</li> <li>・児童生徒が他人にケガをさせた場合</li> <li>・児童生徒が他人にケガをさせた場合</li> <li>・児童生徒が他人にケガをさせた場合</li> </ul>	<p><b>賠償</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事中に他人のものを壊してしまった</li> <li>・児童生徒が他人にケガをさせた場合</li> <li>・児童生徒が他人にケガをさせた場合</li> </ul> <p><b>賠償</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA行事中のPTA会員のケガ</li> <li>・PTA行事中のPTA会員のケガ</li> </ul> <p><b>傷害 (PTA団体傷害保険)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会役員PTA会員のケガ</li> <li>・保護者会役員PTA会員のケガ</li> <li>・保護者会役員PTA会員のケガ</li> </ul>

事故が発生したら学校を連さず保護者から保険会社へ連絡  
AIG 補償 事故受付センター ☎0120-369-936 <24時間365日>

保護者の皆様へ 2025年度版

PTAで加入いただいたら **15%団体**

**山形県PTA連合会**

**やまがた子供総合保障制度** ご案内

【こども総合保障+自転車総合保障】

いじめにあった! 自転車で他人にケガをさせた! 自宅で、学校貸与端末を壊して破損した! 部活でケガをした!

**大切なお子さまを 1日24時間、補償!**

学校でのケガはもちろん、学校管理下の部活や下校中のケガも補償します。

山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例対応 (個人別加入)

オンラインでのお申し込みもこちらから

# 第七十七回 山形県PTA研修大会新庄・最上大会案内

最上地区PTA協議会 会長 監物 雄一郎

今回の山形県PTA研修大会は、令和七年十月十八日土曜日、新庄市の市民文化会館・新庄中学校を会場に、最上地区PTA協議会・新庄市PTA連絡協議会が主管となって開催します。大会主題を「ウェルビーイングく子ども・家庭・地域のしあわせのために大人が変わる」としました。

今回の研修大会は、基調講演のあと、「家庭教育」「学校教育」「地域・社会教育」をテーマに三分科会を開催いたします。基調講演はトキョーコーヒー代表の吉田田タカシ氏で、演題は「子どもの邪魔をしない教育と、次の社会のためのヒント集」です。吉田田タカシ氏は、兵庫県出身、奈良県在中の教育者・デザイナー・ミュージシャン。バンド「DBERMAN」ボーカル。アトスクール「アトリエ」代表。「まほろ」の다가しやチロル堂の共同代表としてグッドデザインアワード大賞（内閣総理大臣賞）を受賞。教育や社会問題に取り組む「トキョーコーヒー」を全国約四〇〇拠点で展開。大阪府人権教育夏季研究会や日本PTA全国研究大会などにおいて多数の講演実績があります。

現在、山形県で策定中の第7次教育振興計画でも「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」を目標に掲げております。身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず将来にわたる持続的な幸福を含むとともに、個人だけでなく、地域・社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることがウェルビーイングの概念です。PTAは全ての保護者、教職員が「子供の幸せ」を真摯に願って続けてきた組織です。今回のテーマから見る視点は「私たち自身も、保護者として、教職員として、幸せでありたい」ということです。優しさ、寛容さ、支えあいを通して、一人ひとりが幸せを実感でき、その延長線上に暮らしやすい地域があること、それこそがPTAの、社会教育の目指す姿だと考えます。

私たち実行委員会は、この大会がこれからの地域の課題を解決する「地域・大人・子供が幸せであること」を県内PTAの皆様と学びあうことを目指し準備して参りますので、ぜひ多くの会員みなさまのご参加をお願い申し上げます。

## 令和6年度 山形県PTA 連合会役員名簿

職名	氏名	所属	学校名	職名	氏名	所属	学校名
会長	武田 靖裕	山形市PTA連合会	山形四中	理事	佐藤 耕	酒田飽海PTA連合会	酒田一中
副会長	長谷川吉之介	山形市PTA連合会	山大附属中	理事	高橋あゆみ	県P連母親委員会(委員長)	山形一中
副会長	佐藤 竜太	鶴岡市PTA連合会	豊浦中	理事	佐藤 由佳	県P連母親委員会(副委員長)	酒田一中
副会長	監物雄一郎	最上地区PTA協議会	新庄小	理事	小澤 敏一	県連合小学校長会	朝陽一小
副会長	渡邊 剛	米沢市PTA連合会	米沢東部小	理事	森本 真紀	県中学校長会	山大附属中
理事	金子 守人	上市市PTA連絡協議会	上山南小	監事	井上 哲寿	山形市PTA連合会	山形一小
理事	赤塚 弘行	天童・東村山地区PTA連合会	天童一中	監事	奥山 貴大	西村山PTA連合会	西川小
理事	後藤 重喜	西村山PTA連合会	陵東中	監事	栗原 宏之	県小中学校教頭会	山形十小
理事	大山 拓也	北村山PTA連合会	楯岡中	事務局長	大江 昌信		
理事	平田 和也	東置賜地区PTA連合会	大塚小	事務局員	高見 佳澄		
理事	椎名 恭一	西置賜地区PTA連絡協議会	長井北中	事務局員	佐藤 静子		
理事	石栗 聡	東田川郡PTA連合会	三川中				

### お知らせ

## 「能登半島地震災害支援活動・書き損じ葉書回収」ご協力の御礼と報告について

令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」は、甚大な被害をもたらしました。山形県PTA連合会として被災地の子供たちの教育環境を復旧する一助となれるよう、「能登半島地震災害支援活動・書き損じ葉書回収」を行いました。おかげさまで葉書6,265枚と切手91枚が集まりました。ご協力いただきました葉書等を切手に交換し、支援金が323,800円となりました。その支援金を石川県PTA連合会に寄付し、子供たちの教育環境や学校のために必要とされる支援に使っていただきます。ご協力いただいた皆さまへ感謝申し上げますとともに、経過ご報告とさせていただきます。